

しろいし おおさき くりはら
国道4号(白石市、大崎市～栗原市)の
道路計画検討に関する意見聴取を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

「国道4号白石市」及び「国道4号大崎市から栗原市」における道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題等について、ご意見をお伺いするアンケート調査及びヒアリング調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

- 対象区間：**1** 国道4号白石市斎川～大平森合
2 国道4号大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田
- 調査期間：令和5年4月27日(木)～令和5年7月31日(月)
- 調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が日ごろ感じている道路交通や地域の課題等について、意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット (WEB)	仙台河川国道事務所ホームページに掲載します。 1 国道4号白石市斎川～大平森合 https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/shiroishi.html 2 国道4号大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田 https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/oosaki.html	令和5年4月27日(木) ～7月31日(月)
返信用はがき	① 別紙の各調査対象地域にお住まいの方に、郵送または広報誌差し込みにて全戸配布します。 ② 別紙の各対象区間を利用する事業者へ郵送配布します。 ③ 各自治体の公共施設等にアンケート調査票と回収ボックスを設置します。 (設置箇所は別紙参照による)	令和5年7月1日(土) ～7月31日(月)

ヒアリング調査について

- 調査期間：令和5年4月27日(木)～令和5年7月31日(月)
- 対象：別紙の各対象区間の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者。
- 調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、業務等で道路を利用される際に感じている道路交通や地域の課題等について、意見を把握するために実施します。
- ※なお、対面での聞き取りを予定していますが、感染症対策を考慮し、調査票送付と電話聞き取りによる対応も可能です。

【発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022-248-4131(代表) E-mail: thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp副所長(道路担当) まつばら よういち (内線 205)
松原 陽一
調査課長 なかくき すずむ (内線 451)
中岫 奨

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

○調査対象地域にお住まいの方

- ・対象地域：白石市、大河原町、蔵王町、国見町
- ・配布方法：各市町の広報誌差し込みにて配布します。
- ・配布予定日：7月1日（土）～

○上記以外の方

下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトや
スマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードが、「**仙台河川国道事務所**」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



仙台河川国道事務所の
ホームページから

詳しくは「**東北地方整備局 仙台河川国道事務所のHP**」へアクセスしてください。



アンケートページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/shiroishi.html>

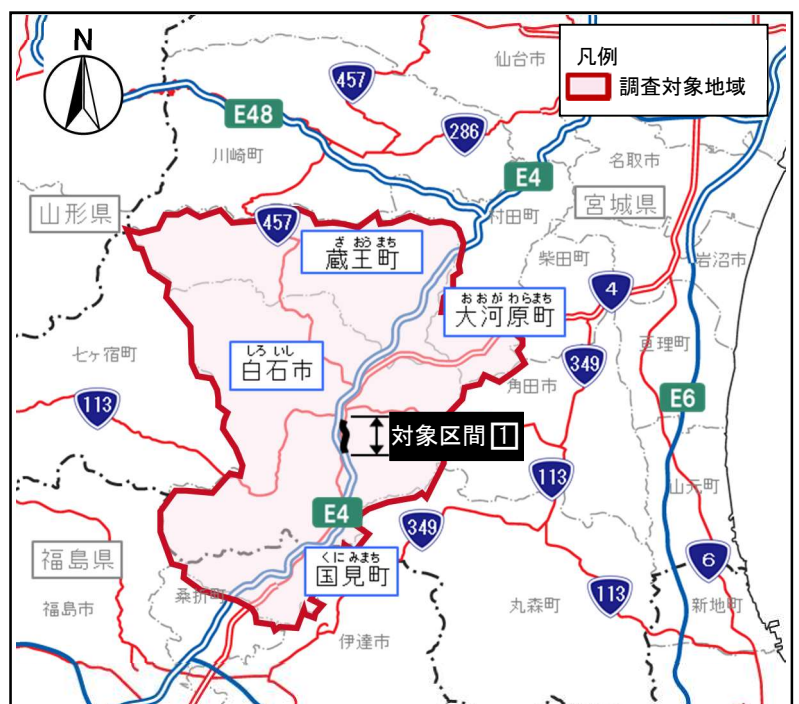
②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅の回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・仙台河川国道事務所 ・岩沼国道維持出張所
宮城県	・宮城県庁 ・大河原合同庁舎
福島県	・福島県庁 ・県北建設事務所
市役所 町役場	・白石市役所 ・大河原町役場 ・蔵王町役場 ・国見町役場
道の駅	・道の駅 村田 ・道の駅 国見 あつかしの郷

【調査対象地域及び対象区間】



●アンケート調査票・返信用はがきの配布

○調査対象地域にお住まいの方

- ・対象地域：大崎市（旧古川市のうち下図の範囲、旧三本木町、旧田尻町）
栗原市（旧花山村を除く）
登米市（旧南方町、旧迫町のうち北方・新田地区）
- ・配布方法：大崎市は郵送、栗原市及び登米市は広報誌差し込みにて配布します。
- ・配布予定日：7月1日（土）～

○上記以外の方

下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

また、インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトや
スマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「**仙台河川国道事務所**」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



仙台河川国道事務所の
ホームページから

詳しくは「**東北地方整備局 仙台河川国道事務所のHP**」へアクセスしてください。



アンケートページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/questionnaire/oosaki.html>

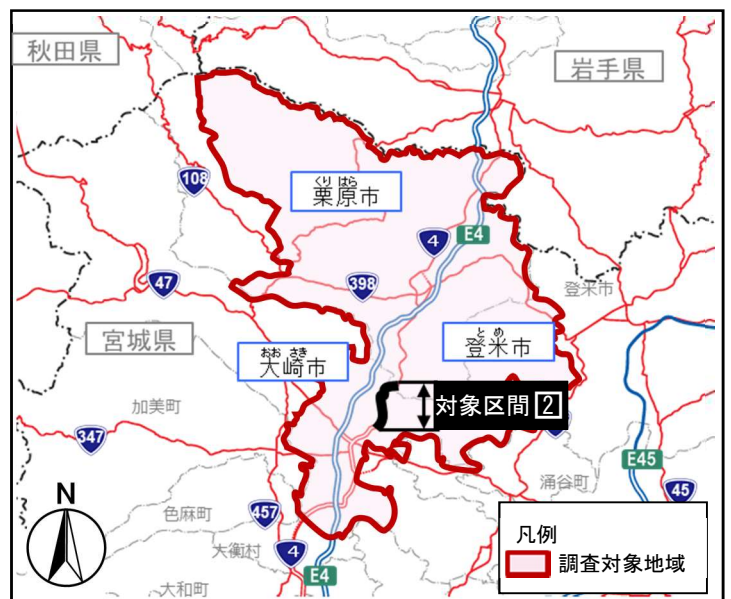
②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅の回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・仙台河川国道事務所 ・古川国道維持出張所
宮城県	・宮城県庁 ・大崎合同庁舎 ・栗原合同庁舎 ・登米合同庁舎
市役所	・大崎市役所(本庁舎、三本木総合支所、田尻総合支所) ・栗原市役所(本庁舎、金成総合支所、栗駒総合支所、鶯沢総合支所、若柳総合支所、志波姫総合支所、一迫総合支所、高清水総合支所、瀬峰総合支所) ・登米市役所(迫庁舎、南方庁舎)
道の駅	・道の駅 おおさき ・道の駅 あ・ら・伊達な道の駅 ・道の駅 三本木 ・道の駅 みなみかた

【調査対象地域及び対象区間】



アンケートの答え方

STEP
01

アンケートの
対象区間を確認する



STEP
02

アンケート対象区間の
道路の課題を確認する



STEP
03

Web または はがき で回答する

※お一人様一回のご回答をお願いします。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください

① スマートフォンから

スマートフォンで右の二次元コードからアクセスしてください。回答フォームが開きます。



② パソコンから

「仙台河川国道事務所」で検索し、「国道4号 白石市斎川～大平森合」のバナーをクリックしてください。



回答は手軽な
Webが
おすすめ!

はがきで回答する 同封の質問表に付いているはがきに回答を記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

① お近くの郵便ポストに投函



仙台河川国道事務所、宮城県庁、福島県庁関係市町役場(白石市、大河原町、蔵王町、国見町)、各市町内公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函



▲地域住民の方用

▲事業者用

みなさまのご意見をお聞かせください!



国道4号
しろいし さいかわ おおだいらもりあい
白石市斎川～大平森合
道路計画検討に関する第1回アンケート調査

全3問
(約4分程度)

●白石市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、対象区間の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。
●本アンケートは、対象区間の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が日ごろ感じている道路交通の課題等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと
道路計画の流れ

地域や道路交通の
現状と課題の整理

今回

アンケート

道路交通・
地域の課題把握

政策目標の設定
対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する
意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 調査課

TEL 022-248-0048

Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

(平日 9:15~18:00)

みなさまのご意見お待ちしております。
ご協力よろしくお願ひします。



アンケートのご回答は 令和5年7月31日(月) までにお願ひします。

しろいし さいかわ おおだいらもりあい

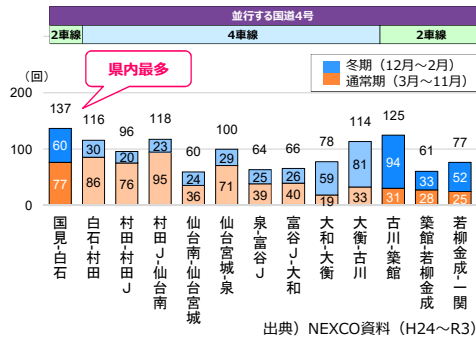
白石市斎川～大平森合が抱える課題

1 東北道通行止め発生時の混雑

- 並行する東北道（国見IC～白石IC）では通行止めが県内で最も多く、通行止め発生時には国道4号に交通が集中しています。

⇒東北道通行止め発生時は、交通が麻痺し幹線道路としての信頼性が低下しています。

▼IC間別通行止め発生回数



▼東北道通行止め発生時 (R4.3.17)

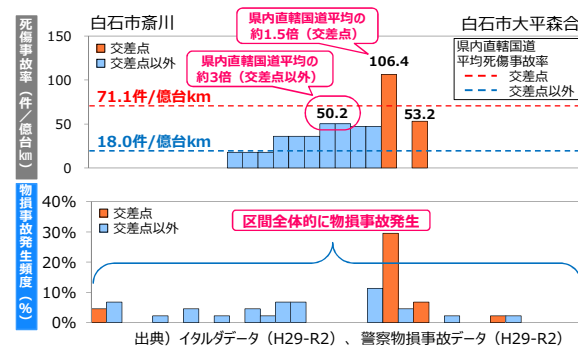


2 県内平均を上回る事故危険性

- 交差点に限らず死傷事故率が高い箇所があり、物損事故も区間全体において発生しています。
- 交差点以外では、集落への接続道路周辺で追突事故が発生しています。

⇒県内平均の約3倍の事故が発生しており、安全性が低下しています。

▼対象区間の死傷事故発生状況



▼対象区間の沿道出入り箇所

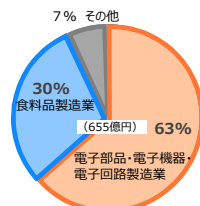


3 不安定な物流ルート

- 白石市では、電子部品・電子機器・電子回路製造業が主要産業で、対象区間は製品の出荷などの物流ルートとして利用されています。
- 東北道通行止め発生時の混雑により、製品輸送の遅延や工場の稼働停止などの影響が出ています。

⇒混雑により、円滑な製品の輸送に支障が生じています。

▼白石市の製造品等出荷額の内訳



電子部品・電子機器・電子回路製造業が約6割

▼電子部品・電子機器・電子回路製造業企業の輸送例

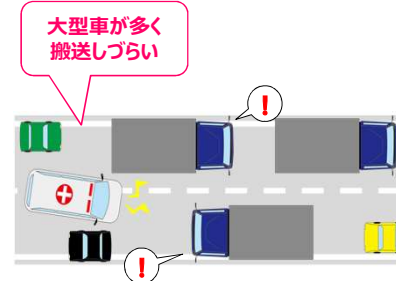


4 迅速な救急搬送の阻害

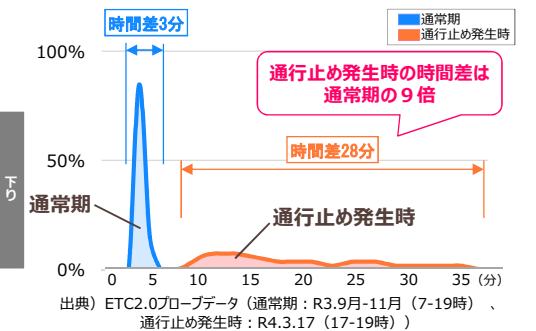
- 片側1車線で大型車が多いため、救急車が追い越すのが難しい状況にあります。
- 東北道通行止め発生時に対象区間通過に遅れが生じ、患者の負担となっています。

⇒患者の迅速な救急搬送の支障となっています。

▼救急搬送時の問題点



▼東北道通行止め発生時の対象区間通過時間のばらつき



アンケートの答え方

STEP
01

アンケートの
対象区間を確認する



STEP
02

アンケート対象区間の
道路の課題を確認する



STEP
03

Web または はがき で回答する

※お一人様一回のご回答をお願いいたします。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください

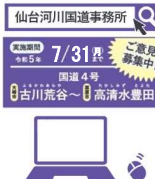
① スマートフォンから

スマートフォンで
右の二次元コードから
アクセスしてください。
回答フォームが開きます。



② パソコンから

「仙台河川国道事務所」
で検索し、
”国道4号 大崎市古川荒谷～
栗原市高清水豊田” のパネル
をクリックしてください。



回答は手軽な
Webが
おすすめ!

はがきで回答する 同封の質問表に付いているはがきに回答を記入いただき、
以下のどちらかの方法で返信してください。

※ 質問票はこちらです ※

① お近くの
郵便ポストに投函



▲地域住民の方

▲事業者用

② 仙台河川国道事務所、宮城県庁、
大崎市役所、栗原市役所、登米市役
所、各市内公共施設、道の駅等の
回収ボックスに投函



大崎市
ペリッ崎さん
©2013 大崎市 #490

みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号

ふるかわあらや 大崎市 古川荒谷～ たかしみず とよた 栗原市 高清水豊田

道路計画検討に関する第1回アンケート調査

全3問
(約4分程度)



●大崎市から栗原市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化し、**対象区間**の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。
●本アンケートは、**対象区間**の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が日ごろ感じている道路交通の課題等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。

今回のアンケートと
道路計画の流れ

地域や道路交通の
現状と課題の整理

アンケート

道路交通・
地域の課題把握

政策目標の設定
対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する
意見の把握

対応方針案の決定



凡例	
—	高規格道路
—	一般国道
—	主要地方道・一般県道
—	4車線
—	2車線
---	事業中

お問い合わせ

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 調査課

TEL 022-248-0048

Email thr-dourotyousa@ki.mlit.go.jp

(平日 9:15~18:00)

アンケートのご回答は 令和5年7月31日(月) までをお願いします。



©2013 大崎市 #490 ペリッ崎さん

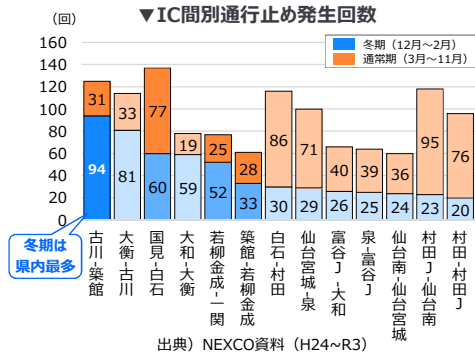
みなさまのご意見お待ちしております。
ご協力よろしくお祈いします。

大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田が抱える課題

1 東北道通行止め発生時の混雑

- 対象区間の混雑度は、県内国道4号2車線区間で最も高くなっています。
- 並行する東北道（古川IC～築館IC）では、冬期の通行止めが県内で最も多く、通行止め発生時には国道4号に交通が集中しています。

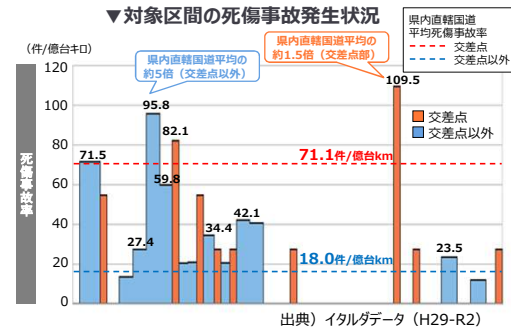
⇒東北道通行止め発生時は、交通が麻痺し幹線道路としての機能が低下しています。



2 県内平均を上回る事故危険性

- 交差点に限らず死傷事故率が高い箇所があります。
- 冬期は正面衝突等の事故発生割合が増加しています。

⇒県内平均の5倍以上の事故が発生しており、安全性が低下しています。



3 不十分な歩行環境

- 歩道は未整備区間の歩行などにより事故が発生しています。

⇒歩行者空間の安全性が低下しています。

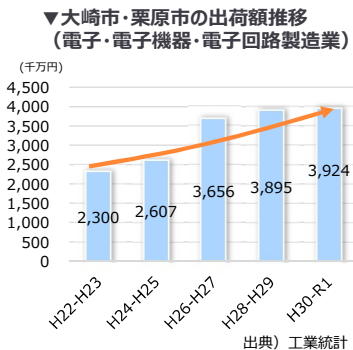
▼歩道未整備区間の歩行者利用状況



4 不安定な物流ルート

- 大崎市・栗原市では、農業や電子部品・電子機器・電子回路製造業が主要産業で対象区間は農産物や製品の出荷などの物流ルートとして利用されています。
- 特に東北道通行止め発生時の混雑で、製品輸送の遅延などの影響が出ています。

⇒混雑により、円滑な製品の輸送に支障が生じています。



▼電子・電子機器・電子回路製造業企業の輸送の例

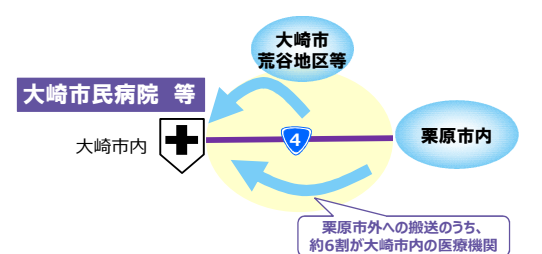


5 不十分な救急搬送環境

- 栗原市は医師数が少なく、大崎市への救急搬送が必要であり、対象区間は重要な搬送区間となっています。
- 片側1車線のため、救急車は追越しやすり抜けが難しく、搬送しづらい状況にあります。

⇒大崎市内及び栗原市からの医療圏を跨いだ救急搬送に支障が生じています。

▼対象区間を利用する救急搬送状況



▼救急搬送時の問題点

